◇女性従業員の活用をめざした賃金・雇用管理の検討のための基礎調査票◇

独立行政法人　労働政策研究・研修機構

Ⅰ．貴社の概要や従業員の雇用状況について教えてください。

問１　貴社の事業は次のどの産業にあたりますか。（○は一つ）

１．鉱業	２．建設業	３．製造業
４．電気・ガス・熱供給・水道業		５．情報通信業
６．運輸業	７．卸売業、小売業	８．金融業、保険業
９．不動産業	10．飲食店、宿泊業	11．医療、福祉
12．教育、学習支援業	13．複合サービス事業	
14．その他のサービス業	15．その他の産業（分類不能など）	

問２　貴社の創業は、何年ですか。
（西暦でお答えください。）　　　　年

問３　ここ５年ほどの事業の状況はいかがですか。（○は一つ）
（創業してから５年未満のところは、創業以降の状況を選んでください。）

１．急拡大している	２．順調に伸びている	３．ほぼ横ばいである
４．少しずつ縮小傾向にある	５．かなり縮小している	６．非常に厳しい状況にある
７．なんともいえない		

問４　貴社は、特定の企業といわゆる下請関係にありますか。（○は一つ）

１．下請けではない	２．以前は下請けであったが今は違う	３．下請けである
４．なんともいえない		

問５　貴社の従業員数を教えてください。（可能な限り本年６月における人数を記入してください。）

	男性の従業員数	女性の従業員数
従業員計（貴社で働いているすべての従業員（派遣労働者を含みます））	人	人
うち「正社員」（雇用期間を定めておらず、通常の勤務時間の従業員）	人	人
うち「パートタイム労働者」（通常の勤務時間よりも所定勤務時間が短い従業員）	人	人

問６　５年前と比べたときの貴社の従業員数の増減は次のどれに当てはまりますか。（○は一つ）
（創業してから５年未満のところは、創業以降の状況を選んでください。）

１．かなり増えた	２．増えた	３．ほぼ同じ	４．減った	５．かなり減った
６．なんともいえない				

問７　貴社において雇用・人事面での課題として特に重視して取り組んでいる点はどれですか。

（○はいくつでも）

１．従業員のモラール（仕事に対する意欲）の維持、向上
２．従業員の能力アップ
３．従業員の仕事の成果をより反映した賃金制度の整備
４．従業員の心身両面での健康の維持・増進
５．量的な労働力の確保
６．若年者の退職率の高さと予防策
７．女性従業員が活躍できる制度・環境の整備
８．ハラスメントの予防など職場環境の整備
９．高年齢従業員の雇用継続と活躍できる制度・環境の整備
10．パートタイム労働者等の非正規従業員の処遇の見直し
11. その他〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

（＊以下の設問は、特にお願いをしている場合を除いて、正社員についてお答えください。）

Ⅱ．賃金の支給実態について教えてください。

問８　大変お手を煩わせて恐縮ですが、次の様式に沿って、正社員に対する本年６月分の賃金（税・社会保険料等天引き前）の支給状況を教えてください。

（＊給与額は毎月の定期給与のみとし、賞与、ボーナス等１ヶ月を超える期間のものは含みません。）

	平均勤続年数	１人当たり平均給与額	うち所定内給与額 (残業分などを含まない給与)
男性正社員	年	円	円
女性正社員	年	円	円

問９　貴社の正社員の中に、勤続年数が２年以上４年未満の人が、男女それぞれ１名以上いますか。

（○は一つ）

１．いる　　２．いない → 次の問 10 に飛んでください。

問９－２　男女でもっとも勤続年数の近い正社員を選んで、次の様式に沿って、本年６月分の賃金などを教えてください。

	勤続年数	業務内容	役職	学歴	所定内給与額
男性	年　月	１．現業的な業務 ２．事務的な業務 ３．営業的な業務 ４．企画的な業務	１．特になし ２．係長クラス ３．課長クラス ４．部長クラス	１．中卒 ２．高卒 ３．短大卒 ４．大卒以上	円
女性	年　月	１．現業的な業務 ２．事務的な業務 ３．営業的な業務 ４．企画的な業務	１．特になし ２．係長クラス ３．課長クラス ４．部長クラス	１．中卒 ２．高卒 ３．短大卒 ４．大卒以上	円

問 10　貴社の正社員の中に、勤続年数が<u>５年以上９年未満</u>の人が、<u>男女それぞれ１名以上</u>いますか。

（○は一つ）

1．いる → 問10－２へ　　2．いない → 次の問 11 に飛んでください。

問 10－２　男女でもっとも勤続年数の近い正社員を選んで、次の様式に沿って、<u>本年６月分の</u>賃金などを教えてください。

	勤続年数	業務内容	役職	学歴	所定内給与額
男性	年　月	1．現業的な業務 2．事務的な業務 3．営業的な業務 4．企画的な業務	1．特になし 2．係長クラス 3．課長クラス 4．部長クラス	1．中卒 2．高卒 3．短大卒 4．大卒以上	円
女性	年　月	1．現業的な業務 2．事務的な業務 3．営業的な業務 4．企画的な業務	1．特になし 2．係長クラス 3．課長クラス 4．部長クラス	1．中卒 2．高卒 3．短大卒 4．大卒以上	円

問 11　貴社の正社員の中に、勤続年数が<u>10 年以上 15 年未満</u>の人が、<u>男女それぞれ１名以上</u>いますか。

（○は一つ）

1．いる → 問11－２へ　　2．いない → 次の問 12 に飛んでください。

問 11－２　男女でもっとも勤続年数の近い正社員を選んで、次の様式に沿って、<u>本年６月分の</u>賃金などを教えてください。

	勤続年数	業務内容	役職	学歴	所定内給与額
男性	年　月	1．現業的な業務 2．事務的な業務 3．営業的な業務 4．企画的な業務	1．特になし 2．係長クラス 3．課長クラス 4．部長クラス	1．中卒 2．高卒 3．短大卒 4．大卒以上	円
女性	年　月	1．現業的な業務 2．事務的な業務 3．営業的な業務 4．企画的な業務	1．特になし 2．係長クラス 3．課長クラス 4．部長クラス	1．中卒 2．高卒 3．短大卒 4．大卒以上	円

問 12　貴社の正社員の中に、勤続年数が<u>15 年以上 20 年未満</u>の人が、<u>男女それぞれ１名以上</u>いますか。

（○は一つ）

1．いる → 問12－２へ　　2．いない → 次の問 13 に飛んでください。

問 12－２　男女でもっとも勤続年数の近い正社員を選んで、次の様式に沿って、<u>本年６月分の</u>賃金などを教えてください。

	勤続年数	業務内容	役職	学歴	所定内給与額
男性	年　月	1．現業的な業務 2．事務的な業務 3．営業的な業務 4．企画的な業務	1．特になし 2．係長クラス 3．課長クラス 4．部長クラス	1．中卒 2．高卒 3．短大卒 4．大卒以上	円
女性	年　月	1．現業的な業務 2．事務的な業務 3．営業的な業務 4．企画的な業務	1．特になし 2．係長クラス 3．課長クラス 4．部長クラス	1．中卒 2．高卒 3．短大卒 4．大卒以上	円

問 13　貴社の正社員の中に、勤続年数が 20 年以上の人が、男女それぞれ１名以上いますか。

（○は一つ）

１．いる → 問 13－２へ　　２．いない → 次の問 14 に飛んでください。

問 13－２　男女でもっとも勤続年数の近い正社員を選んで、次の様式に沿って、本年６月分の賃金などを教えてください。

	勤続年数	業務内容	役職	学歴	所定内給与額
男性	年　月	１．現業的な業務 ２．事務的な業務 ３．営業的な業務 ４．企画的な業務	１．特になし ２．係長クラス ３．課長クラス ４．部長クラス	１．中卒 ２．高卒 ３．短大卒 ４．大卒以上	円
女性	年　月	１．現業的な業務 ２．事務的な業務 ３．営業的な業務 ４．企画的な業務	１．特になし ２．係長クラス ３．課長クラス ４．部長クラス	１．中卒 ２．高卒 ３．短大卒 ４．大卒以上	円

Ⅲ. 貴社の賃金制度について教えてください。

問 14　貴社では、個々の社員の基本給をどのように決めていますか。（○は一つ）

１.「賃金表」を作成して、個々の社員をそれぞれの等級・号などにあてはめて決めている。
２.「賃金表」のような形にはしていないが、これまでの慣行があって決めている。
３．採用時に個別に決定し、それ以降折りをみて適宜改定している。
４．その他〔　　　〕

※「賃金表」とは、従業員の社内格付け（等級）等と関連づけて賃金の基本的な部分（基本給）の額を定めたものをいいます。（例：「４等級３号給は 273,000 円」など）

問 15　個々の社員の基本給額を決定するに当たって考慮する要素は、次のどれですか。

（○はいくつでも）

１．仕事の内容（どのような職務に就いているか）　２．仕事の責任度合（職責）
３．仕事に取り組む姿勢・努力　４．結果としての業績・成果
５．潜在的な能力（持っている資格、過去の実績、仕事の経験年数など）
６．年齢　７．勤続年数　８．学歴
９．その他〔　　　〕

問 16　それらの要素のうち、５年前と比べて考慮する程度が高くなったものはどれですか。

（創業してから５年未満のところは、創業以降の状況を選んでください。）　（○はいくつでも）

１．仕事の内容（どのような職務に就いているか）　２．仕事の責任度合（職責）
３．仕事に取り組む姿勢・努力　４．結果としての業績・成果
５．潜在的な能力（持っている資格、過去の実績、仕事の経験年数など）
６．年齢　７．勤続年数　８．学歴
９．その他〔　　　〕

問 17　以上のような基本給額の決定の方法は、社員に周知していますか。（○は一つ）

１．社内規定や説明した文書を作成して全員に配布している。（社内ＬＡＮなどでいつでも見られるようにしている場合も含みます。）
２．社内規定や説明した文書を事務所に備え付け、いつでも閲覧できるようにしている
４．社員からの求めがあれば説明するようにしている
５．とくに周知するようなことはしていない

問 18　所定内賃金のうちで基本給の割合は、平均的にみてどの程度ですか。　（○は一つ）

１．90%以上　２．80%台　３．70%台　４．60%台　５．60%未満

問 19　個々の社員の仕事ぶりや仕事の成果を評価する場合に、各社員が子育てや介護その他の家庭の事情によりやむを得ず思うように仕事に取り組めないことがあった場合、その事情を考慮しますか。
（○は一つ）

１．まったく考慮しない　２．あまり考慮しない　３．事情によっては考慮する
４．常に事情を考慮して評価することとしている　５．どちらともいえない

問 20　基本給以外の諸手当について教えてください。

問 20―１　社員に扶養家族がいる場合に支給する「家族手当」がありますか。（○は一つ）

１．ある
２．５年ほど前にはあったが今はない
３．以前からない

問 20―２　社員が賃貸住宅を借りている場合に家賃を補助するためなどに支給する「住宅手当」がありますか。（○は一つ）

１．ある
２．５年ほど前にはあったが今はない
３．以前からない

問 20―３　「家族手当」や「住宅手当」などは、夫婦共働きの場合に併給の問題が生じますが、どのように取り扱いますか。（○はいくつでも）

１．社員が「世帯主」であることを支給要件にしているので併給の問題はない。
２．夫婦とも自社の社員であれば、その選択によりどちらかに支給している。
３．夫婦とも自社の社員であれば、手当の半額ずつを双方に支給している。
４．一方のみが自社社員であれば、特に併給調整せずに支給している。
５．一方のみが自社社員であれば、他方に同様の手当が支給されていない場合に支給している。
６．上記以外の方法により併給調整をしている。
７．とくに併給調整の決まりはない。
８.「家族手当」や「住宅手当」のように夫婦併給が問題となる手当はない。

問 20―４　特定の役職に就いていることで支給する手当（「役職手当」）がありますか。
（○は一つ）

１．ある
２．５年ほど前にはあったが今はない
３．以前からない

（２、３）→ 問 20（次ページ）に飛んでください。

問 20―５「役職手当」を支給されている社員は男女それぞれ何人いますか。

○男性社員　[　　　]　人　　○女性社員　[　　　]　人

問 20―６「役職手当」などは、基本給額を 100 としてどれくらいの割合（%）になりますか。

○部長クラス　[　　　]　%くらい　　○課長クラス　[　　　]　%くらい

Ⅳ．様々な人事制度とそれに関連した賃金面の状況について教えてください。

問 21　貴社の管理職に女性社員がいますか。

（管理職とは、係長、課長、部長など一定の役職に就いて、部下の社員を指揮命令する立場の社員のことをいいます。）

（○は一つ）

１．いる → 問 22 にお進みください。
２．いない

問 21―２　女性の管理職がいない理由は何ですか。（○はいくつでも）

１．将来の候補者はいるが、今のところ必要な在職年数等の条件を満たしていないから
２．今のところ管理職の候補になり得る女性社員がいないから
３．管理職に適格となる前に辞めてしまったから
４．管理職になれる女性社員を採用できないから
５．管理職にすることを考えて女性社員を採用していないから
６．家庭責任を多く負っているため管理職のような責任ある仕事に付けられないから
７．管理職は残業が多く、女性社員を就かせるのは難しいから
８．女性社員が希望しないから
９．男女問わず社員が管理職になることはないから
10．「管理職」といえるポストがないから
11．女性の管理職がいない理由はわからない

問 21―３　今後女性が管理職になることがありますか。（○は一つ）

１．近いうちになる予定である　２．いずれはなると思う
３．今後ともなる見込みはない　４．なんともいえない

問 22　ここ５年間に結婚､出産などを契機に退職された元社員を再び正社員として雇用することがありましたか。

（○は一つ）

１．あった　２．なかった → 問 23 にお進みください。

問 22―２　再雇用した女性社員の再雇用時の賃金は､仮に退職することなく引き続き勤務されてきたとした場合に想定される賃金に比べて、どのくらいの水準でしたか。

（○は一つ）

１．ほぼ同程度　２．５％程度低い　３．10％程度低い
４．15％程度低い　５．20％程度低い　６．25％程度以上低い
７．かえって高かった　８．なんともいえない

問 22―３　再雇用をした結果をどのように評価していますか。（○は一つ）

１．よかった　２．まあまあよかった
３．あまりよくなかった　４．よくなかった
６．なんともいえない

問 23　ここ５年間において､従来は男性が従事していた仕事や部署に女性を初めて配置したことがありましたか。（○は一つ）

１．あった → **付問 23―２　そのようにした理由はなんですか。**（○はいくつでも）
２．なかった

１．適格の女性社員を採用できた
２．適格となるように女性社員が育成されてきた
３．女性社員を積極的に登用する自社の方針に沿った
４．女性社員から要望があった
５．特に理由はない

Ⅵ. 女性社員が一層活躍できる職場づくりをめざした取組みについて教えてください。

問 24　貴社では、女性社員の一層の活躍を促進するために、次のような取り組みを行っていますか。
（○はいくつでも）

１．女性社員をより広い範囲の職務に配置すること
２．女性社員を積極的に役職に登用すること
３．ハラスメントの防止など職場環境を整備すること
４．仕事と家庭生活との両立を促進すること
５．女性社員からの意見や苦情を積極的に聴取・収集すること
６．男女間の賃金格差の状況把握とその要因の除去
７．その他〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問 25　女性社員が一層活躍できる職場づくりに関する施策を推進することをめざした、次のような地域の機関をご存じですか。

１．都道府県労働局雇用均等室
２．（財）21 世紀職業財団やその都道府県事務所
３．都道府県や政令市が設置した女性センターなど
４．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 26　女性社員が一層活躍できる雇用環境の推進に関して、貴社の取組みで特筆すべきことや行政へのご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご質問はこれで終わりです。
多くの設問にご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

なお、ご回答いただきました企業のみなさまには、ご希望により、調査結果の概要がまとまり次第お送りすることとしたいと存じます。

結果概要の送付は・・・　１．必要だ　　２．必要でない

送付先のご住所と宛先をお書きください。

（注）調査結果概要のご送付以外に使うことはありません。